

# 玉本なるみです

今年は、安倍政権のもと、憲法九条を変えようとする動き、医療や福祉のダブル  
改悪など、頑張らなくてはならないことがたくさんあり、忙しい年にな  
りそうです。市民の皆さんの暮らしの実態をしっかりとつかみ、議会で  
取り上げていきたいと決意しています。今年もよろしくお願いします。



## 介護の現場の実態を しっかりと届けたい。

昨年4月から介護保険において、介護認定・  
要支援の方のヘルパーさんの訪問が大幅に変更  
され、介護現場は大混乱となっています。しか  
し、京都市は「順調に進んでいる」との答弁を  
繰り返しています。

訪問介護の援助の必要な方々やヘルパーさ  
ん、ケアマネージャーさんたちを苦しめる介護  
保険の改悪は許せません。今年も引き続き、介  
護現場の実態をしっかりと議会に届け、安心  
できる介護となるよう頑張りたいと思っていま  
す。4月からは介護保険料の値上げも検討され  
ており、これ以上の社会保障の後退をさせない  
ためにも、ご一緒に力を  
合わせましょう！

ぜひ、お声を聞かせて  
ください。



## LGBT等(性的マイノリティ)の 方々の命を守る！

レズビアン、ゲイ、性同一性障害等の方は13人に1人  
おられると言われています。ピンとこないと思われる  
方も多いと思いますが、多くの方が告白できないでおられ  
るということなんです。うっかり傷つけてしまっているか  
もしれないのです。実際、自分の性について悩み、耐えら  
れず、自らの命を絶ってしまう方もおられます。共産党市  
会議員団は、他都市調査や当事者の方の話を積極的に聴き、  
私は代表質問で取り上げました。

性的マイノリティの方に限らず、人の多様性を認め、型に  
縛らず、お互いを認め合う社会を作ることが大事だと思いま  
す。今年もこだわって、取り組んでいきたいと思っています。

性同一性障害等の方はトイレ  
に入るのにとても苦勞されると  
のことで、多目的トイレに「ど  
なたでもご利用になれます」と  
表示するよう求めました。▶



父と幼き頃の私

昨年十一月に、父が他界しました。  
広島県の瀬戸田という小さな町の漁師  
の四男として生まれ、中学卒業後は大  
阪に出てきて大工として、高度経済成  
長期に働き続けてきました。  
小旅行でも計画したいなど、相談し  
ていた矢先に、重篤な脳梗塞でいきな  
り昏睡となり、三日間、命の淵をさま  
よいましたが、逝ってしまいました。  
82歳の生涯でした。  
思い返せば、私は大工としての父を  
誇りに思っていました。晩年はご近所  
や親せきの家の改装をよく頼まれ、母  
と二人でトラックに乗って、仕事に出  
かけていました。  
私の最初の選挙の時、事務所の改装  
などもやってくれました。「ありがと  
う」とちゃんとお礼を言いたかったな  
〜と後悔です。  
今回、父の人生をふり返り、一生懸  
命働き生きてきた人が老後安心して暮  
らせる社会の実現に向けて頑張りたい  
と思います。今は、父も陰ながら応援  
してくれていた政治家の道をしっかりと  
歩みたい決意あらたにしています。

人生について考える

